

みずくらんど

校長 加藤雅弘

メタ認知は、生活にも

下の写真左側は月曜日のズーム朝会で使ったものです。そして右側は次の日のものです。

	なし	小	大		なし	小	大		なし	小	大
なし	多	正	—	4/30	正正正正正正	正	正	5/7	正下	正正	F
首	正F	F	T		正正正正正正	T	正		正	正	—
こけ	正	—	—		正一	F	—		—	—	—
止まって	正	T	—		正	—	—		—	—	—
				4/30	19	18	7	5/7	14	15	3
					6	1	2		11	15	3
					3	2	2		4	5	2
					9	5	5		24	44	33

これは朝登校時間帯に校長室の前を通った児童の挨拶の様子を分類記録したものです。縦軸は、挨拶する際の動作（なし、首だけを傾げて、腰から曲げて、立ち止まって）、横軸は、声の大きさです。枠内の正の字及び数字を見ると4月30日から5月7日に向けて少しづつですが変化があることが分かります。左上の「動作・声ともになし」が減少し、「小」の欄が増えている傾向が見取れます。このことをズーム朝会で子供たちと授業形式で行いました。その中で、私からは、「今、自分はどこの枠にいますか？そして、これからは、どうしたいですか？」とだけ問い合わせて朝会を終わりました。

さて、次の朝の結果は、どうでしょう。もうお分かりいただけるかと思います。この結果からは、学習で大切にしてきたメタ認知の力は、生活においても多大な効果があるということが分かります。私からは、挨拶について、どうしましょうという呼びかけは一切していません。また、上記の期間、私は校長室の前に立ち、挨拶をされた場合のみ、同じように返していただけです。子供たちは、自分の状態を認知して、どのように変容した方がいいのか自主的にアクションしたわけです。内発的動機付けによって自分の行動を修正していることができます。

4月当初のテストの誤答分析も、自分の今の状態を客観視して、できているところとそうでないところ、及び「なぜ、まちがえたのか」を認知することで、自主的に学習する姿が見られるようになりました。その力は、生活においても同様に作用することが分かります。子供たちは生まれながらに、自己を成長させる力をもっています。それに気付かせるための環境を整えることこそ、我々大人が心掛けることと言えます。保護者会でも申し上げましたが、子供の成長には植物と同じで時期による違いや速度の違いがあります。焦らず見守っていれば、必ず大きく花開く時がきます。自ら芽吹こうとする時を待ち、水や肥料、そして温かい気持ちを与えて続けることを役割と考えて、寄り添っていきましょう。